

○予算決算委員会

---

令和元年10月1日（火曜日）

午前10時0分 再開

午後 5時9分 閉会

---

○三橋和史委員 三橋でございます。よろしくお願いたします。

早速でありますけれども、行政指導の実施状況について質問いたします。

行政指導の実施状況に関する資料を要求いたしました。提出されておりますが、根拠法令や相手方をなるべく記載していただきたかったんでありますけれども、省略されておりますので具体的な内容がわからないところであります。この資料に記載されたもののうち、特に懸念される案件を挙げてその具体的な内容を説明していただきたいんですけども、市長、何か把握されている案件はございますか。

○仲川元庸市長 もちろん委員御存じのように物すごい件数がございます。今回、資料要求で提出させていただいたものだけでも本年度の分も入れますと2万1204件ということでございますので、非常に多岐にわたりますし、件数も多うございますので、特にこれということでは私は認識はございません。

○三橋和史委員 行政指導を実施していくということでもありますけれども、そもそも行政指導というのは行政権の主体として実施する事実上の行為であります。事案によっては行政処分の後続を見越して行うべきものであります。しかしながら、今般、私が行政指導の実施状況に関する資料を求めても、これを作成していないという部署がほとんどでありました。当然ながら、市長も副市長も所管部長も、課長や担当者さえも一覧として把握していない管理状況であるということが、この資料の要求過程に鑑みても明らかであったことは事実であります。

私の経験に基づいて申し上げても、問題の多い奈良県庁でさえも行政指導の実施状況は、一覧として少なくとも部長級職員には報告を上げておりました。行政指導を実施して、その後の是正状況の確認をされていないものが極めて多数に上っていることも発覚しております。先般取り上げました職員が不足している消防局におきましても、現場だけではなく本部でも削減しているということで、消防局予防課でも是正状況の確認をされていないものが一覧だけでもこれだけに上ります。平成28年で4,135件、29年で3,943件、30年で4,867件、本年度8月までの時点で1,741件、これは全て行政指導をしっ放しで、その措置状況を確認できていないという件数であります。やはり行政指導のしっ放しという状況は是正していただかなければいけません。この行政指導の実施に関して全庁的な問題でありますけれども、情報共有体制の見直し方法と是正措置の確認体制の改善策をお示してください。

○仲川元庸市長 今委員から御指摘をいただきましたとおり、また今回請求をいただきました資料からもわかりますように、非常に膨大な数の指導をさせていただいております。消防局のものが多いわけでございますが、一方で今回一覧化をしたことによりまして措置率についての認識も改めていたしました。御指摘のようにやはり事後のモニタリング、それから事後の追加的な指導等について、やはりこれからさらに体制を強化していかなければならないというふうに認識をいたしております。それぞれの所管課で必要なモニタリング、事後のフォローをしっかりとやるとい

うことはもちろんであります、市役所全体としてモニタリングをしていくということもあわせて検討していきたいというふうに考えております。

○三橋和史委員 今回、この資料を要求したところ、はっきり言って勘弁してくれという部署が多かったわけですがけれども、私は何も自分だけが見たいから要求したわけではありまして、やはり職員にこういった一覧の管理をすべきだという認識を持っていただきたいと、そういう契機にさせていただきたいという意味でも資料を求めたところでもありますので、そういった趣旨をよく酌んでいただいて体制の整備に努めていただきたいと思います。

時間がございませんので順番が前後いたしますけれども、次、議会の中継録画について質問いたします。

今もこうやって中継をされ、後々録画でも見られるわけでありますけれども、奈良市議会の中継録画については画質が極めて劣悪であります。特に本会議場のものについては見るにたえないほど劣悪であります。参考までに用意いたしました、こちらが他市の録画の画面を印刷したものであります。（三橋和史委員資料を示す）こちらであります。もう一つ、こちらが本市の本会議場の画面を印刷したものであります。こちらであります。並べますけれども、一目瞭然ですよ。こっちは真っ黒なんですね。まるでそんなことはないとは思いますが、不透明の市政を象徴するような色になっているわけでもありますけれども、公に開かれた会議を中継で皆さんにごらんいただくという趣旨でありますけれども、演台に立っている人物がまるで煙の向こう側にいるような画質になっているわけですね。火のないところに煙は立たないわけでもありますけれども、こういった状況であります。

ちなみに同じ市長なんですけれども、こちらは鮮明で、こちらは仲川市長でこちらはやはりぼやけていますんでね。これはやっぱりこういった議会を見ていただくというものでありますし、改善していただかなければいけない。ちなみにこちらは市長の画質でしたけれども、私で試してみても同じでした。人物によって変わるわけではありませんけれども、やはりシステムは三十何年前のものをそのまま使っているんですよ。やっぱりこれは変えていただかなければいけないということで、この件は委員会でも取り上げたことがありますけれども、そして議会からも予算要求されたこともありますけれども、全く改善されていない。このシステムの不調もあったこともありますし、録画に失敗している事例も発生しています。早期に予算措置を講じていただきたいと思っておりますけれども、市長の考えを伺います。

○仲川元庸市長 議会の中継システムが老朽化しているということでございます。録画中継等を見ておりますと、音声で聞く分には内容は当然把握はできるわけですが、拡大をして出力をすると差があるということで、他市はもうちょっといい機械を入れているんじゃないかということでございます。

たまさか今般、市役所本庁舎、議会棟も含めて耐震改修の議論をさせていただいているところでもありまして、特に議会棟をどの程度、どの部分の修繕等をしていくかということについては、議会の中でも御議論をいただくというようなことで先般もそういう御意見を伺っております。そのあたりの議論も踏まえまして、優先順位をつけながら対応していきたいというふうに考えております。

○三橋和史委員 誰が見ても、拡大して出力しているから真っ暗なんじゃなくて普通に見ても真っ暗なんで、その点誰が見ても暗いなというのが第一印象でありますから、そこを見ていただきたいわけじゃないので、中身の審議過程を見ていただきたいので、画像が暗いかどうか、まずそっ

ちに意識がいつてしまうような状況であるということでもあります。改善を願いたいと思います。

あと2分ですので、公用車の使用基準について伺いますが、端的にお答えいただきたい。公用車の使用基準は策定されていますか。

○仲川元庸市長 管理規定というのがありますけれども、使用の基準というものは明確にはございません。

○三橋和史委員 公用車をタクシーがわりで使用されている首長がどこかにもいるそうですけれども、そのようなものは論外といたしまして、プライベートの使用と公務との使用を厳密に区別することができないという場合もあるかと思います。危機管理面を強調すればなるべく公用車を使用したほうがよいという見解もありますし、無用の批判を回避するためにもそういった公用車の使用基準ですね、市長は通勤も電車で来られているということでもありますけれども、そういったものを策定すべきものと考えますが、いかがですか。

○仲川元庸市長 このあたりは、私も使用に際しては極力公私混同せぬようということでこれまで取り組んできております。他市がどのような基準を設けておられるかということもぜひ研究していきたいと思っております。

○三橋和史委員 ありがとうございます。終わります。